

JID

NEWS

社団法人 日本インテリアデザイナー協会月報

1985 3・4

1984 JID 協会賞決定

1984 年度(暦年)の J I D 協会賞が去る 2 月 26 日の選考委員会で決定をみた。結果は 59・第 6 回理事会(3 月 29 日)で報告された。垂見選考委員長からの選考経過報告を掲載し、速報といたします。尚、贈賞式と祝賀パーティは恒例により通常総会に引き続き行われる予定です。

<選考委員会報告>

1984 年度協会賞は、選考委員会(委員長 垂見健三、委員 泉修二、川上信二、島崎信、白石勝彦、長大作、中村圭介、三輪正弘、渡辺優、渡辺力)以上 10 名によって、昭和 60 年 2 月 26 日(火)午後 6 時より審査が行われた。

今年度は、自薦・他薦による申請 9 件について提出資料に基づき慎重なる審議の結果、下記 2 件を協会賞として決定した。

記

1984 J I D 協会賞

- (1) 大野美代子+M&M デザイン事務所
作品「一連の橋梁のデザイン活動」

- (2) ㈱ スーパーポテト
作品「一連のデザイン活動」

贈 賞 理 由

- (1) 商業空間における先鋭的なインテリアデザイン活動が評価された。
- (2) 橋梁という新しいデザイン分野へチャレンジし、優れた成果をあげていることが評価された。

目 次

● 1984 J I D 協会賞決定	1
● 第 17 回(昭和 60 年度)通常総会へご出席を	2
● 59・第 5 回理事会議事録	2
● 59・臨時理事会議事録	5
● 第 12 回国井喜太郎産業工芸賞きまる	6
● 委員会組織(事業支部)	7
● 関西支部の動き	7
● 中部支部の動き	7
● 昭和 59 年ブロック別デザイン会議出席報告	8
● 60 年度文芸美術健保案内	12
● 会員の移動	16
● 事務局短信	17

野口記念賞関係

1984年度野口記念賞は、7校26点の作品の応募があり、昭和60年3月8日(金)午後3時より第一次審査が行われ、審議の結果7校14点の作品が第一次審査を通過した。

第二次審査は昭和60年4月8日(月)午後3時より、第一次審査を通過した14点の応募パネルについて行われた。慎重審議の結果、野口記念賞該当作品なし、野口記念奨励賞2作品を決定した。

第17回(昭和60年度)通常総会へ ご出席を

60年度の通常総会は来る5月31日(金)東京で行われる。全会員には来る4月30日総会議案書と案内を事務局から発送の予定です。

以下、簡単に日時、場所、スケジュールを再録いたします。

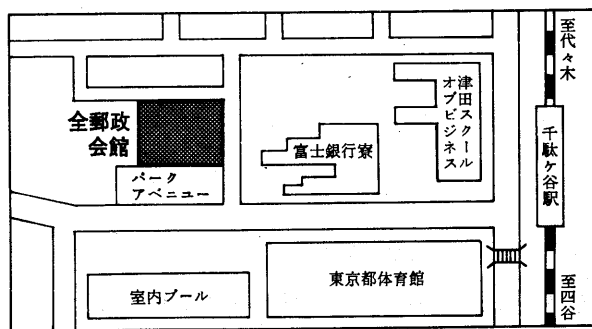
① 日時 5月31日(金)午後1時30分～4時

② 場所 東京・千駄ヶ谷・全郵政会館

(電話03-478-7101～7)

交通は国電(中央線)千駄ヶ谷駅、徒歩2分

③ 1984 J I D 協会賞贈呈式と野口記念賞授与式及び
パーティ 同日、同場所で午後5時～7時



国電(中央線)千駄ヶ谷駅 徒歩2分
尚、駐車場の設備はありません。

59・第5回理事会議事録

日時 昭和60年1月22日(1:30～4:00 PM)

場所 太陽神戸銀行青山支店 3階 会議室

出席者 三輪理事長

理事 樋口 治, 中川千年, 中田重克,
中村圭介, わたなべひろこ,

島崎 信, 泉 修二, 山品 元,

川上信二, 宇賀敏夫

(委任状) 白石勝彦, 川崎 浩, 富田卓司,

渡辺 優

監事 渡辺 力

名誉理事 松本政雄

はじめに議事につき、三輪理事長より説明あり。中村理事補佐にて、報告事項より審議に入る。

I 報告事項

① 新選考委員会委員が決定

昭和60・61両年度の同委員会の委員が決まった。

去る59.12.14の選挙開票の結果、以下の会員が当選した。

三輪正弘・渡辺優・中村圭介・渡辺力・白石勝彦・
泉修二・長大作・垂見健三・川上信二・川崎浩

(敬称略、得票順)

選挙管理委員長 工藤広忠さんの代理として、事務局
局長より報告。理事会はこれを了承した。尚、詳細は
次号「J I D NEWS」誌上にて報告される。

② 訃報

名誉会員の渡部安吉さんが去る12月8日逝去された。
享年79才である。かねてより病氣療養中で、一旦は快
方に向われたものの、病勢俄かに悪化、不帰の人とな
った。ご冥福をお祈りいたします。協会よりは規定に
より供花を贈り、事務局長が弔問にお伺いした。

③ 建築家会館保証金の件

本部事務局の所在する建築家会館は、貸主である㈱
建築家会館との賃貸借関係(昭和48年4月1日～昭和
68年3月31日)によっている。契約書によれば前半10
年に無利子の預け金(保証金)としたものを爾後10年
間で、貸主が借主 J I D に分割返済するようになって
いる。

しかし、建物の設備老朽化に伴う補修改善等の関連
から家賃改訂の含みがあり、これを小巾に押えたいと
の意向から、先方との話し合いは今後の10年間も従来
通り預け金とする線で進めている。

以上、事務局長より資料とともに経緯報告が為され
た。理事会はこの方向で進めることを了承した。

④ I F I 通常総会の件

国際インテリアデザイナー団体連合（IFI、本部
アムステルダム、JIDなど23ヶ国が加盟）では隔年
で国際会議を開いている。JIDも毎回代表団を派遣
しているが、今回は当初予定されていた5月、地中海
クルーズに向けて準備を進めていたが、この程当番国
フランス（SNAI）から下記のように変更が知らされ
た。

- ・期 日 昭和60年11月16日
- 場 所 フランス国パリ市「グラン・パレ」
- テーマ Professional Recognition
(職能の確立)

II 議 題

時間の都合もあり、議事の順序を若干変更して、審
議となる。

① 除名対象者の件

前総会から理事会に付託された下記の会員の取扱い
に関し、定款第11条1項(1)及び(3)ならびに会員規定第
12条により除名審議を行う。カッコ内所属支部

神 田 啓一郎	正会員	(九州事業支部)
後 藤 嘉 夫	"	(中部 ")
西 川 昭 紀	"	(" ")
栗 原 勝 彦	準会員	(関西事業支部)
佐 藤 勝	"	(関東 ")
品 川 誠	"	(中部 ")

事務局より滞納の会費の詳細、督促の状況など資
料により説明が加えられた。結果、上記6名いずれも
除名となった。この結果は昭和60年度通常総会にて、
規定に従い報告されることとなる。

② 予備金支出の件

通産省デザイン化推進WG特別委員会の出版物『官
公庁オフィスインテリア』が59年11月上梓された。出
版物の制作費用はWG特別会計にて支弁することとな
っているが、時期的に費用支出が先行し、頒布収入で
充当することが不可能である。

すでに費用の大半(約4分の3)は特別会計にて支
払済であるが、残金約4分の1に当るものを、一時、
一般会計で処理。後日、特別会計の頒布収入から一般
会計の雑収入項目に戻したい。金額は100万円である。

以上、本件の支出理由及びその後の処理につき事務

局長より説明が加えられた。渡辺力監事による質疑な
ど、理事会は慎重審議の結果、予備金支出を承認した。

③ 組織人事

かねてより人選が待たれていた次号の年鑑『日本の
インテリアデザイン』を担当する。新・出版特別委員
会委員長に中田重克さん(関東)を推す(案)が議長より
提案された。結果、理事会は満場一致でこれを決定し
た。

④ '85 東京国際家具見本市 (IFFT '85) 参加の件

前回 (IFFT '83) の際 JID 創立25周年記念参加
エキジビションとして会員の参加、協力を得て出展し
たが、好評であった為、今回 (60.11.20 ~ 24, 東京)
も招へいを受けているものである。出展の意志を主催
者である(社)国際家具産業振興会に伝える時期に来てい
るので議題となった。討議の結果、前回の実績を踏ま
え、主催者とその内容をよく煮つめることとし、参加
の意志表示をとりあえず口頭で行う。協会内部では事
業委員会を母体に組織づくりを行う。以上2点につき
承認された。

⑤ 会員規定の一部改訂(案)について

前回理事会の意を受けて、再度総務委員会(合田正
甫委員長代行)でまとめられた修正(案)が上程され
た。内容の重要性にかんがみ、次回理事会で審議を尽
すこととした。

⑥ 昭和60年度総会準備について

事務局より叩き台として提出された事業計画概要
(案)を参考に討議を進めた。通常計画についてはほぼ
叩き台としての(案)を良としたが、組織強化につい
ては中・長期的な展望に立って、議長は特に出席者に
意見を求めた。以下各意見の概要。

- ・SSS(社)日本室内装備設計技術協会)との関係強
化はいかなるものか。先方の事業概要・組織・意見
などの収集、打診など必要とされるのではないか。
- ・オフィシャルでなくとも接触は有為であろう。
- ・建設省の、例えば「インテリア懇談会」などへの対
応はどういう方向がよいか。支部会員の意向を、本
部の対応に反映させたい。
- ・前月実施のデザインセミナー開催や委員会活動を通
じて感ずることは、協会をとりまく一般情勢の変化

である。組織強化については会員増強委員会(仮称)などを組織して、J I D の今後に備えることが必要である。

また、各支部関係理事の意見として

- インテリアコーディネーター (以下、I. C. と略す)
資格試験の際の J I D の対応は、「理解ある暖かい静観」であった。その後、有資格者が誕生した現在、尚 I. C. について種々の研究は続行すべきであろう。
 - 支部 (九州) 内部では、他団体との関連事項での論議に特別問題にされているものは見当たらない。むしろ、地域的に J I D の活動を通じ、存在をアピールする方向をとりたい。ことに、展覧会を中心とした事業を盛り上げて行きたい。地場関連産業 (例えば家具) との接触を深め、会員間で研鑽を図ることを考えている。
 - 従来より組織強化の対策についてはアプローチが不足していたように思う。待ちの姿勢を脱し、積極的にフォローアップしたい。また、地域特性を生かした、まとまりのある組織を目指す。
 - I. C. への接近は工業化住宅の産業界が最も熱心に進出しているように思う。これに対しエレメント産業界はそれほどでない。今後は弱い分野出身の方々の、何らかの団体への帰属が注目されて来るのではないか。
 - インテリアデザインに関して言えば、何と云ってもエンドユーザーの求めるものへの注視が肝要である。
- ここで、議長より組織強化委員会、活動増強委員会、事業対策委員会 (いずれも仮称) など、組織一活動一事業など3本柱とも云うべき論点に討議を集中する提議がなされた。
- 本日の理事会のように、諸問題について徹底的に話し合う場づくりが大切だと考えている。会員相互が、自由に討議をすることが必要である。事業も、結果として J I D そのものの知名度を上げることを計画して行きたい。
 - 団体として、全体のパワーアップに連がることを考えて行く。知名度が上がり、また結果的にパワーにつながるようにしたい。
 - 若手会員を含む第一線のデザインビジネスに携って

いる人々の意見を聞き参考にして行く必要がある。

会員外の意見も必要があればとり入れて行く。

ここで、三輪議長より更に提案が為され、前述の組織、活動、事業の3委員会 (何れも仮称) を急ぎ検討する場合の意見を絞り込むよう要請された。従来のように諮問委員会的性格の組織では、前へ進みにくい、また委員メンバーの中に J I D 会員の中堅層とも云うべき会員の参加を求める、など私見が述べられた。

- 時期的には次年度の通常総会 (5月下旬) に間に合うよう準備を進め、結論を出さない場合、諸情勢への対応の時機を失する。期限を区切って決定して行くべきであろう。
- 上述委員会と理事会何れが大きな比重で事を処して行くか、という論点では、理事会が適切であると考ええる。内部のパワー分散を招かない方がよい。
- 組織づくりは何よりも事業の活性化を主眼とした組織が優先されなければなるまい。また組織は停滞せず、行動する組織が望ましい。機関誌なども定期発行が原則であろう。
- 組織が作られても、検討対象を余り広げすぎると、結果は具体的なものが出て来にくいように思う。
- 組織強化については現行細則の中にある総務委員会の中に小委員会を作る (案) も考えられる。
- 現在当面する問題は、協会の基本的な事項に深く関わっていると考えるので、次期通常総会までの理事会を臨時理事会開催など、討議の時間を増やして十分なる審議を尽し、適切な結論を導くのはどうか。特に総会での議案等については執行部としての方針をしっかりと確立して会員の信託に応えて行くことが先決である。

以上のように、ほぼ全員の理事より積極的かつ建設的な意見が出たものの、本日、夕刻よりの J I D 新春交礼会への出席という時間の制約もあり、結論は持ち越された。

結果、以下のスケジュールが決定した。

- 2月2日出 三輪理事長、渡辺優副理事長、樋口、中村、島崎各理事、山品事務局長の6名にて、理事長提案をもとに組織問題などの骨子を検討する。

- 2月26日(火) 上記の討議内容と本理事会の審議を併せ、臨時理事会を開催して総会準備を行う。

- 3月29日(金) 59・第6回理事会を予定する。

⑦ 協賛名義関係(4件)

(イ) 「JIDA デザイン会議'85 中部」

主催 (社)日本インダストリアルデザイナー協会

60.3.22(金)～23(土) 愛知県長久手町

(ロ) 「第2回 国際デザイン・フェスティバル」

主催 (財)国際デザイン交流協会

60.4.1(月)～11.30(土) 大阪

(ハ) 「SHOP 関西'85」&「ハイタッチ'85」

主催 日本経済新聞社

60.7.26(金)～29(月) 大阪

(ニ) 「第3回 インテリア産業経営者セミナー」

主催 (社)インテリア産業協会

60.2.13.(東京)～27(札幌)

以上につき、資料が提出され、事務局長より説明が加えられた。結果、いずれも可とし、承認された。

⑧ 入会関係(1件)

東京ナイキ工業株式会社	(賛)	紹介者 山品 元
-------------	-----	----------

以上の件につき、資料に基づき入会審議が行われ、承認となった。

(以上)

59・臨時理事会議事録

日 時 昭和60年2月26日 (1:30～4:45 PM)

場 所 太陽神戸銀行青山支店 3階 会議室

出席者 三輪理事長

理 事 中村圭介, 川崎 浩, 宇賀敏夫,
白石勝彦, 樋口 治, 川上信二,
中川千年, 中田重克, 泉 修二,
山品 元, 島崎 信

委任状 渡辺 優, 富田卓司, わたなべひろこ

はじめに議事につき、三輪理事長より説明あり。樋口理事補佐にて、報告事項より審議に入る。

I 報告事項

① 昭和60・61年版 会員名簿の発行

本年度は名簿発行年に当る。かねてより事務局で作業を進めていたが1月31日発行した。体裁は従来通りであるが、本文の活字、顔写真等改善し、一層利用しやすくなった。官公庁、教育、研究機関を初め、関連団体、友好団体等(約150)に寄贈した。

② 「官公庁オフィスインテリア」報告書

去る2月7日、中央官庁(各省庁)をはじめ、地方官庁(各都道府県庁)に寄贈した。その他、教育、研究機関、関連団体、友好団体にも同様、寄贈を行った。特に通産省関係は、各地方通産局にも寄贈することとした。(合計176箇所)

尚、現在の有償販売冊数は1,250冊である。在庫は約1,000冊であるので、更に拡販を進めたい。

③ JID 活動強化懇談会(仮称)

59・第5回理事会(60.1.22.開催)の意を受けて、下記役員が出席して行われた。

日 時 60.2.2(土) (4:00～6:30 PM)

場 所 JAA 3階 会議室

出席者 三輪理事長,

渡辺優, 中村, 樋口, 島崎, 各理事

(事務局) 山品

議 題: 協会をとりまく諸問題とその対応について
会はフリートーキング形式ながら、相当突込んだ意見の交換がなされた。今後とも理事長のブレーンとして機能すべく、随時開催するようになろう。話し合われた内容は理事長より理事会に報告するルーチンを取り決めた。

以上、山品事務局長より報告された。特に③については、三輪理事長より補足として内容報告がなされた。

II 議 題

① 昭和60年度総会準備について

本理事会開催の主旨である総会準備のための下記資料が事務局より提出され、順序を踏んで、審議が行われた。

A. 昭和60年度 事業計画(案)

B. 組織強化関連資料(案), 「JID訪中団」(仮称) 資料

C. 総会までのスケジュール (案)

D. 会員規定の一部改訂 (案)

以上につき決定した要点は以下の通りである。

• Aについて

A-1. 計画 (案) 冒頭に組織強化の方向を明確に表現する。

A-2. 選考, 総務, 広報, 教育, 事業の5通常委員会の事業計画 (案) 骨子を決定。

A-3. 渉外委員会の事業計画 (案) に「J I D 訪中団」(仮称) の項を入れる。

A-4. 同様, 官公庁との接触・対応を深める項を入れる。

• Bについて

Bは三輪理事長より主旨説明あり, 事業計画 (案) にその狙いと, 検討点に落ちがないよう要請され, 資料の活用を行う。また, 「J I D 訪中団」(仮称) 関係については樋口理事より説明が加えられた。

• Cについて

スケジュール (案) については, 恒例の行事となっている協会賞贈呈式, 野口記念賞授与式, それに続く祝賀会等との関連もあり, 5月31日(金)の線で固まった。

• Dについて

本件は前回の, 59・第5回理事会 (60.1.22開催) で大筋が決定されていた, 総務委員会の修正案である。組織強化に大きく関係する規定でもあり, また次回通常総会にも再上程のケースであるので, 慎重審議の上, 承認された。

以上, A, B, C, Dにつき何れも決定及至承認。

② その他

1. 協会の組織・事業など, 当面する諸問題について広く会員の意見を求め, また執行部の考えを理解してもらう意味から, 各事業支部単位で「会員懇談会 (仮称)」のような会合を計画することを決定した。
2. 協会の名称を, 例えば日本インテリアデザイン協会に改称する, などという意見については, 十分会員間での討議を尽し, 時間をかけて決定して行くことが大切である。以上, 渡辺力監事よりの書翰を中

心に審議, 理事会はこれを了承した。

3. 事業間の調整

(イ) 国際デザインフェスティバル

(大阪, 60.10.17 ~ 24)

(ロ) '85 東京国際家具見本市

(東京, 60.11.20 ~ 24)

(ハ) 国際インテリアデザイン会議

(パリ, 60.11.23 ~ 26)

以上3件につきJ I D は参加を表明しているが, スケジュールが近接しているので, 効率よく諸事業間の調整を行うこととなった。

また, 上記のうち(イ)については1983年参加の例にならない, 委員会組織, 本部・支部両面からの予算措置等, しっかりした形で計画を練ることとなった。

4. コピー機の件

現在, 本部事務局ではリースによりコピー機 (キヤノン, NP-201) を使用している。43ヶ月を経過したため, 故障が頻発している。アフターケアのフォローはよくやって呉れているものの, 新鋭機 (NP-250 RE) に乗り換えたい。残余期間の17ヶ月は下取りさせるものとし, リース代は微増の見込。以上, 事務局長より提議された。結果, 理事会はこれを諮り, 承認した。

(以上)

第12回国井喜太郎産業工芸賞きまる

(財)工芸財団 (豊口克平理事長) では, 昭和59年度の受賞者を下記のように決定した。

• 小池岩太郎氏

「プロダクトデザインの分野で活動し, 発展と普及に貢献した功績」

• 時松辰夫氏

「木工芸を通じ, 地場産業のデザインの高揚」

• 長原実氏

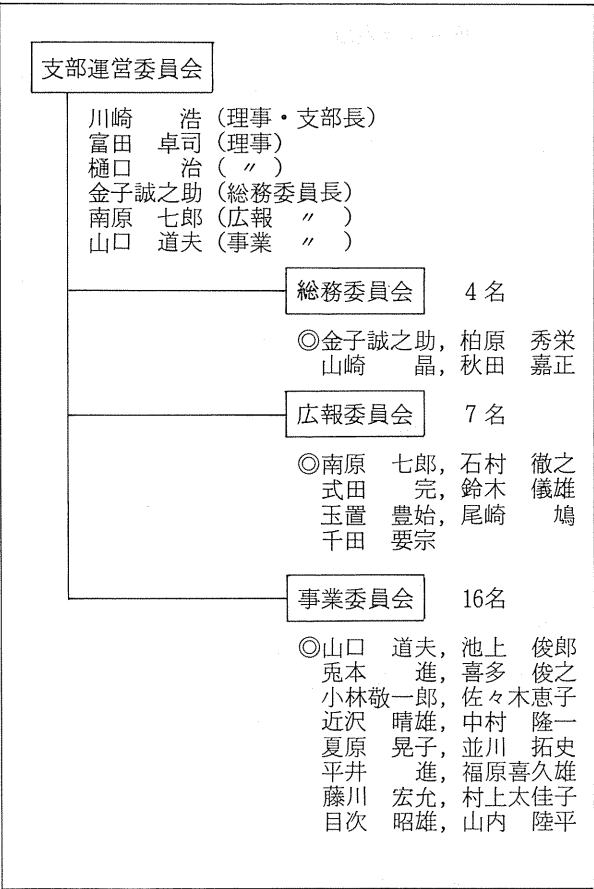
「地場産業とデザイナーとの連帯によるインテリアデザインの新生面の開発」

贈賞式は東京・平河町のマツヤサロンで行われた。引続き記念パーティが開かれ、80名の多数の方々の出席を得て受賞者各氏をお祝いした。JIDからも三輪理事長、中村理事はかが出席した。

委員会組織(事業支部)

前回に引続き、関西事業支部関係の組織をご紹介します。委員の方々のご苦勞は大変なものです。会員皆様のご協力をお願いいたします。(一部、予定の方々を含みます)
昭和59～60年度(◎印委員長)

関西事業支部



関西支部の動き

1. 支部運営委員会開催

出席者 川崎 浩(理事・支部長)
富田卓司・樋口 治(以上理事)
山口道夫(事業委員長)

日 時 60. 3. 18(月) 6:00 P M

場 所 大阪デザインセンター資料室

- 議 題 1. 2月26日臨時理事会の報告
2. 59年度事業報告・60年度事業計画および収支予算(案)検討(総会の別添資料として)
3. その他(建設省インテリア資格問題等)

2. 兵庫県南庁舎見学会

このたび、同庁舎の改造工事が完成したのを機会に見学会を開催した。重要文化財級の明治建築に改造を施したもので、本格的な内装、家具、装飾工事を含む非常に珍しい例です。県当局、工事特別企業体のご好意により実現をみたので、誌上より厚く御礼申し上げます。

日 時 60. 3. 25(月)

場 所 兵庫県南庁舎(仮称兵庫県迎賓館、県政資料館)

神戸市中央区下山手通4-1-1

出席者 川崎 浩支部長ほか15名の参加が得られた。

中部支部の動き

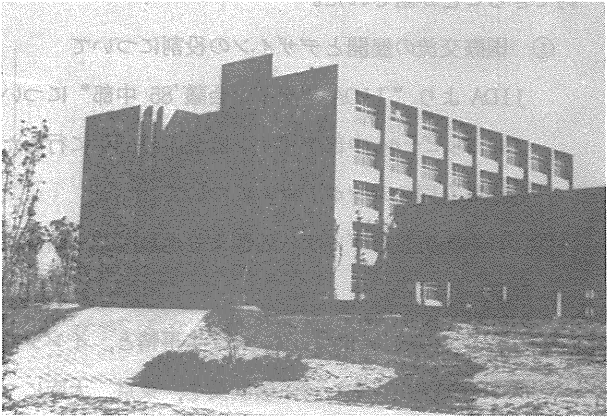
1. 名古屋造形芸術短期大学 新校舎見学研修会報告

日 時 昭和60年2月16日(土)PM2:00～5:30

場 所 愛知県小牧市

参加者 松本、田村、林、堀内、本多、前田、加藤、大橋、事務局の中村及び㈱イナックスの開発室勤務の大沢の諸氏 計9名の参加

前日までの暖かい日が一転冬にもどり、寒風がふく中を参加者は中央線春日井駅前に集合し、ここから約8km北東の小牧市丘陵地に新設された名古屋造形芸術短大に向った。



この短大は今迄名古屋市の西にあって17年間造形教育をしてきた大学がキャンパスの狭隘さから移転を決意し、57年から59年にかけてその第一期工事の完成をみたもので、その建築は芸術系、デザイン系、講義系、管理系、学生生活系の5様に分れ建設されており、コンクリート打放しの極めてシンプルな中に夫々の使用目的に応じた配慮のなされた造形群となっている。此の各様の内計を、林の案内によって詳細に見学し、帰途についた。ちなみに、此のキャンパス及び建築の基本計画は林である。

(中部支部 林 寅正)

2. サービス業懇談会 出席報告

日 時 昭和60年2月22日(金) AM10:00~12:30

場 所 商業貿易課 視聴覚室

出席者 通産省検査デザイン課長 小川氏、アイチ

県商工部商業貿易課長、主幹他

(社)JID、(社)JIDA、(社)日本パッケージ

デザイン協会、(社)日本グラフィックデ

ザイナー協会、中部デザイン協会、中部ク

リエーターズクラブ、日本陶磁器デザイナ

ー連盟、名古屋イラストレーターズクラブ、

日本広告写真家協会、(社)日本デザイナー

クラブの10団体。

開会案内の表題からは、我々デザイン関係の団体がサービス業なのか判断に苦しむ所であるが、それはさておいて冒頭検査デザイン課長小川課長より通産省のデザイン政策の3本柱について説明が下記のようにあった。

- ① グッドデザイン選定事業の改革
- ② 60年度からのデザイナーバンク構想について
- ③ 大阪国際デザインフェスティバルについて

次で懇談会にうつり、各団体より概略以下の項目に要約できることが話された。

- ① 国際交流の展開とデザインの役割について

JIDAより“JIDAデザイン会議’85 中部”についてのアピール。中部デザイン協会より59年に行った各団体合同のシンポジウムについて

- ② 日本陶磁器デザイナー連盟より地域産業と新商品開発

- ③ JIDより中部地区のインテリア事情と、インテリアコーディネーターの試験制度を、東京、大阪につ

いて名古屋での開催希望

- ④ その他 グラフィック団体、イラストレーターズの団体等より

現状説明、消費者ニーズの多様化とデザイン等について話があり、終りに再度、小川検査デザイン課長より

①Gマークについて、又②イベントについては、地域政策、デザイン政策のイベントがあって、その上で、デザインバンク等も行われると両々相まって、うまくゆくのではないかと補足があり、此の懇談会を終った。

(中部支部 林 寅正)

九州支部より

’85九州会員展について訂正のお知らせ

’85九州会員展も押しせまりましたが、先日皆様に配布しました。会員展開催要項に一部誤りがありましたので(棒線部分)下記の様に訂正いたします。

記

- テーマ (社)日本インテリアデザイナー協会九州事業支部 ’85九州会員展 くらしとくつろぎ
「あかり、いす、ばこ」

- 期 日 1985年4月17日(水)~21日(日)
搬入4月16日(火) 9:30~12:00
飾り付け 12:30~17:30
搬出4月21日(日) 17:30~

- 場 所 福岡市美術館市民ギャラリーC
* 出品作品搬入は16日(火)12時迄に各自搬入し、午後から全員で飾り付けを行ないます。

(九州事業支部 事務局)

昭和59年度ブロック別デザイン会議 出席報告

中国・四国ブロック

日時 昭和60年2月20日(水) 14:00~17:00

場所 広島通産局 第1会議室

議題 ① デザイン行政の現状について

広島通産局 米光商工課長

② 各県におけるデザイン振興施策の現状と問題
点及びその対策について

中・四国各県の担当者

このあと、国際デザイン交流協会より「第2回国際デザイン・フェスティバル」について、福山地方産業デザイン振興協会より「瀬戸内海デザイン会議（仮称）」について各々説明があったが、当協会より「JIDの概要について」と題して、JIDの内容紹介及び「官公庁オフィスインテリア」の発刊までの経過と内容についての説明を行なった。本書については、インテリア関連の出席者が特に関心を示され、閉会後も質問、問合せがあった。

（関西支部 浅田弘之）

関東ブロック

日時 昭和60年2月19日（火） 13:00 ～ 17:00

場所 東京大手町合同庁舎 第3号館第2講堂

議題 (1) デザイン振興等施策の概要及び昭和60年度の新政策について

通産商検査デザイン課 平田総括係長
デザイン振興事業の具体的内容等について

（財）日本産業デザイン振興会 小林専務理事

（財）国際デザイン交流協会 木村常務理事

(2) 当局における産地に対するデザイン高度化の
取組みについて

東京通産局 西中小企業第一課長

(3) 各都県市におけるデザイン振興施策について
各都県市担当課

(4) 質疑応答

(5) 講演

「地方産業におけるデザインの重要性について」

（財）浜野商品研究所 浜野代表取締役

本年は出席者も多く、充実した会議となった。

第2回を迎える国際デザインフェスティバルと、「デザイナーバンク構想」が大きな内容である。講演では浜野氏が、脱工業化社会を迎え、機能第一主義から遊びの要素を加味したデザインの側面を強調した。

（関東支部 山品 元）

中部ブロック

日時 昭和60年2月22日（金） PM 1:30 ～ 5:10

場所 名古屋通商産業局 二階会議室

あいさつにつづき、別紙会議次第によって進行した。

冒頭、小川検査デザイン課長より、3本のデザイン政策が下記のように説明があった。

① グッドデザイン政策について

② 地方デザインの為のデザイナーバンク政策について

③ イベントによる一般市民のデザイン意識改革政策について

ついで中部各県のデザイン指導行政の現況、

（財）日本産業デザイン振興会より、デザインの情報整理、情報活動、デザインの振興策、デザインの国際交流等について

（財）国際デザイン交流協会より、大阪で開催されるデザインフェスティバルについて

（社）JIDAより「JIDAデザイン会議'85中部」の
アピール

等があって、前段の会議を終り、休憩の後、後段の講演に移った。

講演 「地方産業におけるデザイン開発の重要性」

講師 三 島 彰 氏

要 旨

最近、読んだ本に「9 Nations of North America」があるが、之はいわゆる地図に表現された北アメリカの中は3つの国であるが現実には9つの国民がいること、それはL.A.地域ではスペイン語が公用語として入ってくる事が予想される程、スペイン語族が多い。だから地図を忘れて現実を見なければならぬ、地図上の地域差ではなく、別の地域差が人間の動きからでてくる。

この古い地域差と新しい地域差の間にでてくるものがデザイン、地域のアイデンティティを結集したものに関するものがデザインであり、文化の結晶である。…… 中略

現状の日本のデザインは、直接消費者とコミュニケーションをするデザイン言語となってきた。このデザインという言語なしで消費者と対話することはできなくなってきたことを知らなければならない。

地方産業がデザインをするということは、このデザイン言語を自分の言語として、自分で直接表現することである。之をかりに集散地問屋がつくったデザインを産地が単につくるといふことのみでは産地は裏方にすぎない。之は他人のかいたシナリオであり、自分の言葉ではなく、生産と流通の主導権をとられることとなる。……

だから、自分の言葉で、消費者に直接話しかけること、それも、明日のアイデンティティで話してゆきたい。……
……… 中略

そのためには、地方産業の単サイクル小ロットの生産段階の新らしい努力が必要であり、“企画提案型受注生産”ともいう事ができるのがのぞましい。……

そして、産地は自閉症になるな。産地は常に消費地に向って開かれていなくてはならない。……… 後略

と、1時間半にわたり熱く語られ、閉会となった。

(中部支部 林 寅正)

シンガポールから家具デザイナー

募集のお知らせ

このたび、下記のように、シンガポール貿易発展局(TDB)からデザイナー募集の依頼がありました。シンガポールは日本の家具デザイナーの協力を得て、デザインレベルの高い家具を作り、我が国や他の東南アジアへ家具の販路を広げようと意欲的です。正会員の方の積極的な応募をお待ちします。

記

1. 募集人員——1～2人
2. デザインの分野——ムク材等、木材を用いたデザイン(イタリー風の寄想天外なデザインは好まない)
3. 経 験——日本の家具メーカーと協力して市場に商品を送り出している家具デザイナーが望ましい。
4. 語 学——語学は重要ではない。
5. 提出物——A4ファイル(返却できません)
 - ① 履歴書
 - ② 写真、スケッチ、ドローイング等。
6. 期限・提出先——5月2日(木) JID事務局
7. 審 査——シンガポール貿易発展局(TDB)がデザイナーを選択する。

8. スケジュール、他——2～3ヶ月後に、1～2週間シンガポールに滞在の上、マッチする家具メーカーと契約する。初回の旅費、滞在費、経費はTDBが持つ。

9. その他——契約はTDBとの直接個人契約です。希望者が多い場合、委員会で調整の上、TDBをご紹介しますので、予めご了承下さい。

10. お問い合わせ——JID事務局(03-403-3649)

——〈渉外委員会〉——

JID会員のための専門家案内

以下JIDの顧問をお願いしてある専門家の方々です。

JID会員であることを明示して、ご相談下さい。

〈法律〉関係

顧問弁護士 宇都宮健児氏

宇都宮健児法律事務所 電話(03)571-6051

〒104 東京都中央区銀座6-12-15

西山ビル3F B

〈工業所有権〉関係

顧問弁護士 南 一清氏

南特許事務所 電話(03)294-0611～2

FAX(03)294-0613

〒101 東京都千代田区内神田1-6-3

〈税務・経営〉関係

顧問税理士 山田 久男氏

山田経理事務所 電話(03)863-2200

〒103 東京都中央区日本橋浜町1-1-2

セブンスターマンション702

〈経営相談・事務所設立〉関係

顧問経営コンサルタント 伊藤 正城氏

伊藤経営管理事務所 電話(03)425-0601

〒154 東京都世田谷区新町2-29-4

日本デザイン学会 「木と人間のかかわり展」・1985

J I Dも協賛している表題のご紹介をいたします。参加お申込みは直接末尾の同展事務局まで。

- ・ シンポジウム（場所・京王プラザホテル・エミネンスホール）

講演 1. 「技術史から見た木と人間のかかわりについて」 京都大学教授 吉 田 光 邦

講演 2. 「アメリカにおけるハイテックと人と木について」 プラッドインスティテュート大学助教授 大 館 年 男

講演 3. 「李朝家具の意匠と文化的背景」

梨花女子大学教授 裴 満 実

以上の講演後、木と技術

- ・ 産業・歴史、木と造形、木と環境のテーマのもとで、シンポジウムを行う。

- ・ 展示会（場所・同ホテルプラザナード）

この展示会は、木と人間のかかわりを総合的に認識し、木とのふれあいを体験し、今後の生活デザインの中での木の可能性をさぐる目的で企画された・日本・世界の樹種・産業とテクノロジー（サウンド・食文化・アクション）とのかかわり、さらに人間感覚に調和ある遊具、知育玩具やユニークな造形作品などを具体的に展示し、木の新素材まで紹介する予定。

展示会は無料です。シンポジウム参加費は4,000円（テキスト代含む）。ご希望の方は往復ハガキで下記へ。〆切日 5月10日。

〒151 渋谷区本町 1-59-4-5 A

日本デザイン学会家具木工研究部会

木の文化コミッティ事務局

電話 (03) 377-8655

インテリアコミュニケーションプラザ JFC

去る2月21日、東京・晴海のジャパン・ファニチャー・センター(JFC)が、「インテリアコミュニケーションプラザJFC」としてオープンした。

従来のショールームを脱皮、単なる家具・インテリアの製品の展示場にとどまらず新しい時代の暮らしに役立つソフトウェアの提供を狙いとしたものである。

トータルインテリアステーション、インテリアリフォームステーション椅子百選(CHAIR 100)、コーディネータースタジオ、JFC ギャラリー、JFC サロンなどの各種の施設と機能を備えている。

同プラザへの交通は有楽町マリオン前または銀座4丁目から晴海埠頭行きのバスに乗り、日本家具センター前で下車。

問い合わせ：〒104 東京都中央区晴海 3-10

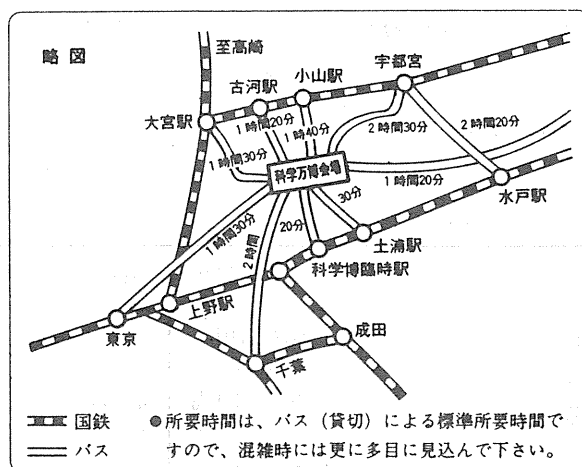
JFC 商事㈱

電話 (03) 532-0011 (代)

(事務局)

科学万博つくば'85

連日のように万博会場は賑わっているようです。事務局にも『公式ガイドブック』を常備していますので、ご利用下さい。ご参考までに会場への所要時間を転載いたします。



各基点からの所要時間表

“みどり多き世田谷区立のコミュニティ センターを利用しませんか”

世田谷区は区民の生涯教育のための市民大学・区民講座を目とし、地域住民のコミュニティーを活発にするため区内各所に区民センター・地区会館・集会所・福祉会館などを散在させています。個人では利用できませんが地域の文化活動に協力する団体に限り利用ができます。“地域住民

の住環境の向上に協力する”として区内在住の渡辺・下島委員の賛同も得、事務局長と相談の上、協会世田谷委員会をつくり登録団体とし申請し4月より施設の利用ができるようになりました。区内や近接区在住の会員のセミナー・懇親会などの御利用をすゝめます。

• 環 境

区の都市デザイン室、都市美委員会の管査により計画され石本建築事務所など一級建築士の設計によるものが多い。特に桜新町の新町地区会館は整備された1,000坪の庭園の中に建てられ、セミナーに招かれた大学教授も環境のよい

ことを絶賛しております。昼間の集会は快適です。

• 交通・費用

渋谷から玉川新線で4～9分で徒歩5～7分のところの三宿・太子堂・三軒茶屋・桜新町の便利なところにもあります。午前・午後・夜3～4時間単位1回空調の実費として200円だけ（民間では50席以上の貸ホールは2～30,000円です）

• 申し込み

3ヶ月前から電話で（事務局が代行してくれます）場所など資料は事務局にあります。

（関東事業支部 委員 吉 永 淳）

60年度文芸美術健保案内

会員の中でも、文芸美術健保の有利さから、毎年加入する方々が増えてきています。

下表でもお分りのように、本年は保険料の改訂がありません。従って、一般健保より更に有利だと思います。国民健保で掛けている会員で、特に家族数の少ない方はご検討下さい。

末表のように、家族数や収入を勘案して、一般の国民健保より有利になる方は、文芸美術健保に加入されることをおすすめします。

① 葬祭費

加入後満5年以上 80,000円（10,000円増額）

同 10年以上 110,000円（10,000円増額）

② 育児手当金

1件につき60,000円（20,000円増額）

③ 入院見舞金

加入後1ヶ年を経過した組合員を対象

入院1日につき1,000円50日間を限度

（入院日より6日間と退院日を除く）

東京都23区保険料と組合保険料の比較表

（60.4.1）

	東京都23区保険料年額 （住民税×$\frac{107}{100}$+1人につき9,000円 最高限度額31万円）								組 合 保 険 料 年 額
年 収	200万円		300万円		400万円		500万円		組合員（月額） 7,800円
控除が認められる 必 要 経 費	40%	30%	40%	30%	40%	30%	40%	30%	家 族（月額） 1人 3,800円
単 身 者	円 55,050	円 70,030	円 105,050	円 137,930	円 173,240	円 221,240	円 246,920	円 280,000	円 93,600
家 族 1 名 （世帯人数2名）			83,700	107,190	142,500	189,590	213,120	276,770	139,200
家 族 2 名 （世帯人数3名）						164,330	187,870	248,670	184,800
家 族 3 名 （世帯人数4名）							168,600	226,570	230,400
家 族 4 名 （世帯人数5名）								205,200	276,000

（注）太線内に該当する方は、文芸美術健保の方が収入に拘わらず一率料金のため、トクであることになります。

会員の消息

◇ 金子 浩 子

この度、R・Kシェーファーデザインを創めることにいたしました。短い月日でしたが、アクタスにお世話になっておりました間行き届かないことのみ多くご迷惑をおかけいたしましたにもかかわらず公私共にいつも変わらないご厚情を頂き本当に申し訳なく有難く存じますと共に深く御礼申し上げる次第でございます。

新しい環境では誠に微力でございますけれど今迄同様デザインに関わる分野に心新たに取り組んでまいりたいと存じております。(後略)

デザイン室 〒107 東京都港区赤坂9-6-28
アルベルゴ乃木坂1203
電話 (03)479-0583
自 宅 〒251 藤沢市鵠沼松が丘3-2-14
電話 (0466)22-3709

◇ 村 上 保

暖かくなりました。もう4月にもなっていました。

正月7日に火事を出し、自分の家のみならず他家3軒まで類焼させてしまい、色々なことがありまして、あっと云う間に過ぎてしまう日々でした。

その折には御見舞とはげましのお手紙をいただきまして本当にありがとうございました。遅くなってしまいました。が心からお礼申し上げます。

御迷惑をおかけしておりましたが、住所変更を届出させていただきます。

(旧住所) 〒153 目黒区五本木3-13-21

(新住所) 〒244 横浜市戸塚区前田町67-3-204
電話 (045)821-4750
村 上 保 (会員番号364)

よろしく願いいたします。

仕事では防災設備等にも多少ともたずさわっている立場でしたが、我家のおそまつだった状態には面目ない次第でした。現場の検証から他家との補償問題を含め、詳細に記録をとっておきましたが、貴重な勉強をしたものだと思います。

一段落すればしたで、そこから元気を出して行くのなかなか大変な様ですが、がんばって行こうと思っております。よろしく御指導いただきます様お願い申し上げます。

賛助会員ニュース

◇常盤レザー工業株式会社

このたび、パインブルクロス新見本帖「パインブル970全種防カビ」ができました。機能性・低価格、施工性、デザイン何れにも優れた特長を持っています。お問い合わせは下記へお願い申し上げます。

〒104 東京都品川区東品川3-18-11

電話 (03)472-3001 (担当:伊藤氏)

◇トーソー株式会社

このたび、時代のニーズに応えるべく、CIについて検討してまいります。その一環

として右記のように「シンボルマークならびに社名ロゴタイプ」等を刷新することいたしました。今後ともより一層のご愛顧をお願い申し上げます。

TOSO

インテリアは、心の景色。

トーソー株式会社
TOSO COMPANY, LIMITED

◇スタイルフランス株式会社

デシュマケール社社長来日のお知らせ

インテリア・建築業界の皆様、フランス デシュマケール社の高級インテリア用椅子張り地、カーテン地を御紹介するため、社長が来日いたします。

今年、創業100年のデシュマケール社はヨーロッパはじめ、世界的なコンクールで多くの賞を受け、この分野では、多くの方々の称賛を得ております。鍛えぬかれ、伝えられてきた技術と、意欲的に取り入れている新しいテクニックを基に発表されるコレクションは、毎年業界をリードするものと自負しております。

デシュマケール社日本代理店である、当スタイルフランス社は、今回の社長来日の機会に、広く業界の皆様にコレクションを紹介させていただきたく、展示会を催します。

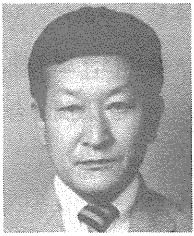
・日 時 5月7日～10日
・場 所 スタイルフランス株式会社
千代田区一番町22-1
セントラルビル101B

・電 話 (03)234-0186 (担当:神保)

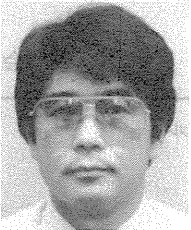
是非、お越しくださいませ。お待ち申し上げます。なお、あらかじめ御連絡いただけたら、デシュマケール社長と、直接にお話しいただけます。

新入会員の紹介

正 会 員

さ とし ひとし 佐 藤 均 (会員番号568) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	新建築設計 秋田市山王3-1-7 東カンビル6F 〒010 0188-64-1313 秋田市新屋町字割山179-76 〒010 0188-62-3245 小 畑 次 郎 ・ 植 原 豊 郎
あき の みのり 秋 野 稔 (会員番号569) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	プラス株式会社 東京都文京区音羽1-20-11 〒112 03-942-3115~6 神奈川県川崎市多摩区栗谷1-6-10 〒214 044-954-1381 藤 村 盛 造 ・ 阪 井 良 種
なか がわ せい じ 中 川 斉 二 (会員番号570) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	中川デザイン事務所 神奈川県小田原市栄町4-8-30 〒250 0465-23-1455 神奈川県小田原市栄町4-8-30 〒250 0465-23-1455 中 村 圭 介 ・ 山 品 元
おお つか 大 塚 し の ぶ (会員番号571) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	ブラウン株式会社 東京都世田谷区東玉川2-31-19 〒158 03-727-3121 東京都世田谷区駒沢4-18-12-604 〒154 03-418-1938 白 石 勝 彦 ・ 川 上 信 二
くま き みつ よし 熊 木 光 吉 (会員番号572) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	ブラウン株式会社 東京都世田谷区東玉川2-31-19 〒158 03-727-3121 東京都世田谷区駒沢4-18-12-604 〒154 03-418-1938 白 石 勝 彦 ・ 川 上 信 二

正 会 員

おむ た あき こ 太 田 明 子 (会員番号573) 	〈勤務先・事務所〉 〈自 宅〉 〈推 薦 者〉	(株)メックデザイン インターナショナル 東京都港区北青山1-2-3 〒107 03-403-9361 東京都港区三田1-11-45-704 〒108 03-453-3744 吉 永 淳 ・ 渥 美 孝 道
ひろ せ はじめ 廣 瀬 一 (会員番号574) 	〈勤務先・事務所〉 〈自 宅〉 〈推 薦 者〉	㈹ 新 巧 舎 三重県桑名市三ツ矢橋69 〒511 0594-22-0758 三重県桑名市三ツ矢橋69 〒511 0594-22-0758 堀 内 啓 二 ・ 宇 賀 敏 夫
こ みや よう いち 小 宮 容 一 (会員番号575) 	〈勤務先・事務所〉 〈自 宅〉 〈推 薦 者〉	K & K アーキテクト 兵庫県神戸市中央区中山手通3-4-6 〒650 078-321-6036 兵庫県明石市松ヶ丘1-4・19-201 〒673 078-911-8059 尾 上 孝 一 ・ 夏 原 晃 子
なめ かた 行 方 ひふみ (会員番号576) 	〈勤務先・事務所〉 〈自 宅〉 〈推 薦 者〉	Fiola 駒沢(フジインテリア) 東京都世田谷区上馬3-18-7 〒154 03-412-7440 東京都葛飾区金町3-30-1 〒125 03-607-4225 中 田 重 克 ・ 伊 藤 利 一

賛助会員

株式会社 三 越  株式会社 三 越	住 所 担 当 者 紹 介 者	〒103 東京都中央区日本橋室町1-7-4 電話番号(03)241-3311(内3760) 営業本部 家具電器部 部 長 駒 場 芳 幸 大 和 宏
---	--------------------------------------	---

会員の移動

正会員

会 員 名	移 動 事 項	新
佐々木 浩 (関東) P 72	勤 務 先 住 所 部 屋 番 号 変 更	ダイヤモンドパレス802号
金 子 浩 子 (関東) P 58	事 務 所	デザイン室 R・K・シェーファーデザイン 〒107 港区赤坂9-6-28 アルベルゴ乃木坂1203 電話(03)479-0583
林 寅 正 (中部) P 198	勤 務 先 住 所 変 更	〒485 愛知県小牧市大字大草字年上坂6004 電話(0568)79-1111
藤 木 修 (関東) P 101	勤 務 先 住 所 変 更	〒103 中央区日本橋室町1-3 電話(03)241-7641
村 上 保 (関東) P 113	自 宅 住 所	〒244 横浜市戸塚区前田町67-3-204 電話(045)821-4750

賛助会員

東 陶 機 器 (株) P 243	担当・住所・部署名 変 更	〒107 港区南青山1-24-3 ToTo乃木坂ビル5階 東京本部デザイン第三課 電話(03)402-4911
----------------------	------------------	---

会 議

〔2月〕 28日 教育委員会

〔3月〕 8日 選考委員会
(野口賞第一次審査)
14日 教育委員会
15日 関東事業支部委員会
20日 事業委員会
25日 関西事業支部
第3回見学会
(兵庫県南庁舎)
29日 59 第6回理事会

〔4月〕 5日 渉外委員会
8日 選考委員会
(野口賞第二次審査)
10日 教育委員会(予定)
12日 渉外委員会, シンポジウム, アジアと交流
を考える会(予定)
15日 総務委員会(予定)
16日 60 臨時理事会(予定)
17~21日 九州事業支部
'85委員展
20日 関東支部委員会・
見学会

寄贈図書

• コクヨ株式会社	THE Office Book	2. 13	
• (財)日本産業デザイン振興会	日本産業デザイン振興会15年史	2. 26	
• 三井ホーム株式会社	三井ホーム招待建築家10人+住宅設計 競技入賞作品集	3. 18	
• (社)日本ディスプレイ業団体連合会	ディスプレイ業界近未来展望	3. 11	
• (社)日本商環境設計家協会	会 員 名 簿	3. 18	
• (社)日本クラフトデザイン協会	会 員 名 簿	3. 19	
• 全国家具卸組合連合会	昭和60年版 全国家具卸業者名鑑	3. 20	

事務局短信

① 外苑の桜の蕾もふくらんでいます。しかし、本年はほんとうに雨の多い初夏になりました。しかし、日本海側や、北海道の会員諸兄にはまだ春色濃いかも知れません。

② 事務局では去る3月29日の理事会決定を受け、現在総会準備に追われております。今年の総会は既報のように5月31日(金)です。協会賞贈賞式や祝賀パーティなどが併催されます。スケジュールの調整方よろしくお願いいたします。議案書の発送は5月初旬の予定です。

③ 既報のようにI F I 総会が5月から11月に会期が変更になりました。現在、フランス室内建築家協会(SNAI)から住所宛名などの問合せがあります。案内状を先方で準備

している模様です。

④ 昭和59年度会費未納の方へ。59年度の決算上、ぜひとも近日中に未納会費を納めて下さい。通常総会をはじめ、協会の事業は何よりも会員各位の会費納入による協力を必要としています。

⑤ 例年のように、今号に「文芸美術健康保険」の案内を載せました。保険料は昨年度に引続き据置となりました。家族数と年間収入など、保険負担額は大きく差異が出る会員もいらっしゃるのではないかと思います。最近改めて国保などからこれに乘換える方が漸増の傾向です。事務局にも資料がありますので、お気軽にご連絡下さい。

(03-403-3649伊藤まで)

(事務局)

JID賛助会員ディレクトリー (抜 粋)

セ ン コ ー イ ン テ リ ア (株) 兵庫県小野市黒川町16 〒675-13 (07946) 3-1111 荻野行作 (商品開発課課長)	象 印 マ ホ ー ビ ン (株) 大阪市北区天満1-20-5 〒530 (06) 356-2353 芦田育三 (デザイン室長)
大 成 建 設 (株) 東京都新宿区西新宿1-25-1 〒160 (03) 348-1111 西村道男 (建築本部設計室)	(株) 大 丸 装 工 事 業 部 大阪市南区鰻谷仲之町38 〒542 (06) 252-0641 石村昌男 (部長)

(株) 竹 中 工 務 店 東 京 支 店 東京都中央区銀座8-21-1 〒104 (03) 542-7100 光藤俊夫(設計部)	(株) 竹 中 工 務 店 大 阪 本 店 大阪市東区本町4-27 〒541 (06) 252-1201 内線3810 渋谷 章(意匠課長)
(株) 高 島 屋 事 業 本 部 東京都中央区日本橋2-4-1 〒103 (03) 211-4111 渋谷 貞(事業統括部設計室長)	立 川 ブ ラ イ ン ド 工 業(株) 東京都渋谷区代々木4-30-7 〒151 (03) 375-1111 石原弘道(S P室)
(株) ダ ン イ ン テ リ ア 東京都渋谷区代々木2-21-10 〒151 代々木パレス3-301 (03) 370-2228 横田幹郎(取締役社長)	中 央 設 備 エ ン ジ ニ ア リ ン グ(株) 愛知県名古屋市中村区名駅1-2-4 〒450 (名鉄バスターミナルビル10F) (052) 582-8201 岡嶋敏弘(インテリア部部长)
(株) 天 童 木 工 東京支店: 東京都港区浜松町1-19-2 〒105 (03) 432-0401 桜井久喜(技術部商品開発課課長)	東 京 シ ン コ ー ル(株) 東京都荒川区東日暮里4-12-1 〒116 (03) 802-3211 中根 修(企画部デザイン室室長)
東京デザイナー学院名古屋校 事務局: 愛知県名古屋市中区栄5-1-3 〒460 (052) 262-0766 富田光政(事務長)	東 陶 機 器(株) 東京都港区南青山1-24-3 〒107 ToTo 乃木坂ビル5階 (03) 595-9753 小林一郎(東京本部第三課課長)
ト ー ソ ー(株) 東京都中央区新川1-4-9 〒104 (03) 552-7451 大槻秀人(専務取締役営業本部長)	常 盤 レ ザ ー 工 業(株) 東京営業所: 東京都品川区東品川3-18-11 〒140 (03) 450-1157 石坂昌之(常務取締役)
(株) ト ミ タ 東京都中央区京橋2-3-16 〒104 (03) 273-7551 富田順三(営業部課長)	(株) ニ チ ベ イ 東京都中央区日本橋3-15-4 〒103 (03) 272-2011 内線420 金坂嗣堯(総務部企画課次長)

JID NEWS

1985/3・4

(日本インテリアデザイナー協会月報 1985年通巻第132号)

頒価 300 円 (送料共)

編 集・社団法人 日本インテリアデザイナー協会総務委員会

昭和 60 年 4 月 25 日発行

中村圭介・合田正甫・大和宏・前原誠・安藤孚

発行・社団法人 日本インテリアデザイナー協会

村口映子・高木敦子・山品元・西沢圭三

柏原秀夫(関西)・溝口新(九州)・田村悠(中部)

印刷所・広洋印刷株式会社

振 替・東京 8-76389